

表 5-中 E.FORUM スタンダード (第 1 次案) : 中学校音楽 (小山英恵編集)

音楽科における包括的な問い：
 音楽とは何か。音楽の楽しさ、よさ、美しさとは何だろう。
 様々なイメージは、音によってどのように表現されるだろうか。

領域		表現	
		歌唱	器楽
中学校	本質的な問い	<p>歌詞の内容や曲想：歌詞の内容や曲想にふさわしい表現とはどのようなものか。</p> <p>曲種に応じた発声・言葉の特性：この楽曲にふさわしい発声とはどのようなものだろうか。この音楽と言葉の特性とはどのようにかかわっているか。</p> <p>声部の役割・全体の響き：声部の役割と全体の響きの関わりはどのようなものか。</p>	<p>曲想：この楽曲にふさわしい表現とはどのようなものか。</p> <p>楽器の特徴・基礎的な奏法：この楽器にふさわしい奏法とはどのようなものか。</p> <p>声部の役割・全体の響き：声部の役割と全体の響きの関わりはどのようなものか。</p>
	永続的理解	<ul style="list-style-type: none"> ある楽曲の歌唱表現プロセスにおいては、歌詞の内容や音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など）のかかわり合いを感じ取りながら試行錯誤して表現を工夫していく必要がある。 世界には多様な音楽があり、それぞれにふさわしい発声や、それぞれの言葉の特性と音楽とのかかわりがある。 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解するためには、テクスチュアや形式に着目しながら音楽の構造を把握することが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ある楽曲の演奏表現プロセスにおいては、音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など）のかかわり合いを感じ取りながら試行錯誤して表現を工夫していく必要がある。 楽曲にふさわしい表現をするためには、楽器の特徴を理解し、曲にふさわしい音色や奏法を工夫する必要がある。 それぞれの楽器は、その楽器を生み出した風土や文化・歴史と関わりをもつ。 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解するためには、テクスチュアや形式に着目しながら音楽の構造を把握することが大切である。
	課題例	<p>レクチャー・コンサート</p> <p>公民館では、地域住民が文化を学ぶための様々な講座が開かれています。市長は、この講座の一つとしてみなさんに特別音楽講座を担当してほしいと考えています。音楽講座には地域の様々な人が参加する予定です。講座に参加する人たちが音楽をより深く学び味わうことができるように、みなさんは次のことを行う必要があります。①市長の提示する曲のなかから好きな曲を選ぶ。②その曲の解説(楽曲の紹介(背景や音楽の特徴など)と、あなた自身の表現の工夫の説明を行う、③その曲を表現が伝わるように演奏する。</p> <p>特別音楽講座までは、まだ時間があります。市長からの要求に注意して模範演奏を聴いたり自分たちの演奏の録音を聴いたりしながら練習を重ねて準備をし、講座を成功させましょう！(試案)</p>	

創作	鑑賞
<p>言葉や音階などの特徴から旋律：言葉や音階の特徴からどのような旋律ができるだろうか。</p> <p>イメージ、音素材から構成：私のイメージはどのような音素材を用いてどのように構成すれば音楽にすることができるだろうか。</p>	<p>音楽の要素や構造と曲想とのかかわり：この音楽のよさや美しさ（表情や味わい）は、音楽の要素や構造とどのようにかかわっているのだろうか。</p> <p>音楽の特徴とその背景：この音楽の特徴は、その背景となる文化・歴史や他の芸術とどのように関連しているのだろうか。</p> <p>音楽の多様性：我が国や郷土の伝統音楽及び諸民族の音楽はそれぞれどのような特徴をもっているか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、抑揚、アクセント、リズムなどの特徴があり、音階にはその構成音によって生み出される独特な雰囲気がある。それらと自己のイメージとをかかわらせながら旋律をつくることができる。 音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら自己のイメージを表現することが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や構造は、音楽のよさや美しさを批評する際の客観的な根拠となりうる。 音楽はその背景となる文化・歴史や他の芸術から影響を受けており、それが音楽の特徴となって表れている。 人々の暮らしとともに音楽文化があり、そのことによって様々な特徴をもつ音楽が存在している。
<p>学校紹介 VTR に BGM をつけよう</p> <p>附属福岡中学校の紹介 VTR の一部「朝の登校、あいさつ運動」を見て、このシーンに合う BGM を作曲しましょう。記譜の方法は問いません。また、作曲のコンセプトと工夫した点についても説明しましょう¹。（伊丹晶子先生）</p> <p>ジェットコースター・ファン</p> <p>コンピューター会社のディレクターは、「ジェットコースター・ファン」という新しいコンピューター・ゲームを開発しました。ディレクターは、人々がジェットコースターに乗っているときに感じる感覚を表現するオリジナルのテーマ音楽を求めています。あなたたちは、このコンピューター・ゲームのテーマ音楽を作曲するために選ばれました。ディレクターは、メロディライン、リズム、強弱、テンポがどのような感覚を生み出すのかというあなたの理解を示すような音楽作品を創り、その作品を演じることをあなたたちに求めています。ディレクターは、まずテーマ音楽の草稿を創作する時間を与え、その後その草稿を最終的な作品に仕上げる時間を与えてくれます。ディレクターは、そのコンピューター・ゲームのテーマをあなたたちが演じる前に、そのための練習時間も与えてくれます²。</p>	<p>ディスクジョッキーになろう</p> <p>あなたはラジオのディスクジョッキーです。全国のラジオのリスナーに、「魔王」の面白さ、すばらしさなどについて、誰もがわかるように説明する状況におかれています。その放送原稿を作成しましょう³。（杉山利行先生）</p> <p>学校に日本の文化を学ぶためにパキスタンから留学生がやってきました。さて、音楽の授業です。今日は日本の音楽について学んでいます。曲のテンポや、リズムの全く異なる文化のよさを自信を持って伝えなくてはなりません。自分の意見をはっきり述べるとともに日本ではどのように感じるか時代を超えての魅力を伝えられるようまとめてください⁴。（荒木伸子先生）</p>

¹ 京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM 『「スタンダード作り」基礎資料集』2010年、163頁。

² ワシントン州公教育管理局 HP、 <http://www.k12.wa.us/Arts/PerformanceAssessments/default.aspx#Music> （2013年1月11日確認）。

³ 杉山利行「音楽科」西岡加名恵・田中耕治編著『活用する力』を育てる授業と評価 中学校——パフォーマンス課題とルーブリックの提案』学事出版、2009年、78頁。

⁴ 京都市立衣笠中学校で作成された課題『京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM 「カリキュラム設計」ワークブック』2008年、49頁。